

取組の効果見積及び指標のチャレンジ度一覧表

資料 3

※挑戦的な指標項目に★を付けています。

基本目標 1 男女平等意識の促進

(1) 男女共同参画に関する啓発活動の展開

No.	取組	指標項目	2016	2023	区分	
					目標指標	確認指標
1	男女共同参画に関する図書・DVD等の収集、貸出	女性関連資料の蔵書冊数	2,605冊	2,650冊	○	
効果見積	市民が、女性関連資料を目にする機会が増え、男女共同参画の認知が深まる。					
2	男女共同参画に関する情報発信の充実	情報誌の年間発行回数	2回	2回	○	
効果見積	さんかく21・安城と協働して情報誌を発行することで、市民が広く男女共同参画の情報を入手できる。					
3	男女共同参画イベントの開催	男女共同参画関連のイベント参加者数	485人	530人	○	
効果見積	さんかく21・安城と協働で開催することで、より市民の視点に沿ったイベント内容となり、多くの市民が男女共同参画の重要性・必要性を認識する。					

(2) 男女共同参画に関する学習機会の提供

No.	取組	指標項目	2016	2023	区分	
					目標指標	確認指標
4	出前講座の実施	出前講座の実施回数	0回	2回	○	
効果見積	参加者が講座を通じ、男女共同参画についての理解を深められる。					
5	人材育成のための講座等の開催	人材育成講座の受講者数(累計)	327人	460人	○	
効果見積	受講生が、エンパワーメント講座を通じて市政へ関心を持ち、様々な分野で意見を提言する場に参画するようになる。					
6	市役所職員への男女共同参画研修の実施	市職員の男女共同参画研修参加者数	43人	85人	○	
効果見積	市職員が自らワーク・ライフ・バランスを実践すると、男女共同参画の視点を踏まえた業務遂行をするようになる。					

基本目標 2 若年者への男女平等意識の定着

(1) 学校等における教育機会の充実

No.	取組	指標項目	2016	2023	区分	
					目標指標	確認指標
7	保育者研修の実施	保育者研修の参加人数	32人	32人	○	
効果見積	保育者が男女共同参画社会基本法の基本理念を理解することができる。					
8	学校等における男女共同参画に関する教育の実施	「道徳」「学活」「総合」「保健」「人権教育」において男女共同参画に関する指導を行った学級数	—	すべての学級	○	
効果見積	児童・生徒が、男女の違いを知るとともに、お互いを理解し合おうと努めていく気持ちを育てることができる。					
9	学生に対するDV防止に向けた情報提供・啓発の実施	リーフレット等の配布数	2,000枚	2,000枚	○	
効果見積	生徒が男女共同参画を含めたDVについて認識するようになる。					
10	教育現場におけるLGBTへの対応	LGBT等に関する啓発実施率 ★	—	85%以上実施	○	
効果見積	教職員が、性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めることができる。					

(2) 思いやり、認め合う意識の醸成

No.	取組	指標項目	2016	2023	区分	
					目標指標	確認指標
11	思春期保健の推進	講師派遣及び物品貸し出し件数	47件	50件	○	
効果見積	子どもたちが、受け継がれた命、大切に育てられてきた自分を感じるにより、命の大切さを知ること、また人生設計が望まない変更とならないように、「性」についての正しい知識を知ることができる。					
12	赤ちゃん出会い・ふれあい交流事業の推進	赤ちゃん出会い・ふれあい交流事業の参加人数	1,585人	1,600人	○	
効果見積	小中学生が、赤ちゃんとふれあい、関わることによって様々なことを感じたり考えたりしながら思いやりや命を大切にできるようになる。					

基本目標 3 男女共同参画社会の実践

(1) 女性のエンパワーメントへの支援

No.	取組	指標項目	2016	2023	区分	
					目標指標	確認指標
13	各種審議会等における女性委員の増加に向けた取組	すべての審議会等における女性委員の割合	28.2%	33.0%	○	
効果見積	女性が審議会等に参加することで、方針・政策決定の場に女性の意見が述べられるようになる。					
14	女性の人材リスト等の整備	市民参加パートナーバンクの登録者数	172人	202人	○	
効果見積	人材育成講座修了生等が人材リストへ登録することで、様々な審議会等に参加することができるようになる。					
15	女性の人材育成のための研修・講座への派遣	研修会等への派遣者数(累計)(市民協働課)	25人	43人	○	
効果見積	県などが開催する研修会等へ参加した市民が、女性リーダーに必要な知識・見識を得ることができる。					
16	誰もが学べる環境の整備	研修会等への派遣者数(累計)(生涯学習課)	6人	42人	○	
効果見積	女性が学びの場へ参加しやすい環境を整えることにより、ひとつづくり、地域づくり等における知識・技能を向上することができる。					

(2) 職場における女性活躍の推進

No.	取組	指標項目	2016	2023	区分	
					目標指標	確認指標
17	職場での女性活躍に向けた啓発・情報提供	県・関係機関が開催する講座等の啓発回数	3回	—		○
効果見積	事業者が、女性の能力の活用に対する意識を高めることにより、女性が能力を発揮できる社会になる。					
18	女性の起業支援の実施	起業セミナー参加者数	—	30人	○	
効果見積	多くの女性が起業することで、女性が生き活きと活躍できる社会が形成される。					
19	女性の就労支援・再就職支援等の実施	再就職支援セミナー受講者数	14人	20人	○	
効果見積	退職した女性が、再就職に関する情報を得て、働けるようになる。					
20	安城市における「特定事業主行動計画」の推進	管理的地位にある職員(課長補佐級以上)に占める女性職員の割合 ★	11.6%	17%	○	
効果見積	女性職員が管理職員へ登用されることで、女性の個性と能力が十分に発揮され、活力のある組織になる。					
21	女性農業者への支援の充実	家族経営協定の締結農家戸数 ★	62戸	69戸	○	
効果見積	農業に従事する女性が、農業という職業分野においても活躍できるようになる。					
22	子育て支援や女性の活躍推進を行う企業への優遇策の検討	入札における加点対象企業数	26社	—		○
効果見積	市が、評価競争入札の評価で既に取り入れている「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」以外に「あいち女性かがやきカンパニー」等の制度に登録認定された企業を入札、契約時の評価に加えることで、企業へ女性の活躍やワーク・ライフ・バランスの啓発及び誘導ができる。					

(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備

No.	取組	指標項目	2016	2023	区分	
					目標指標	確認指標
23	各種制度（育児休業・介護休業等）の周知	各種制度についての広報及び啓発回数	12回	—		○
効果見積	各種制度を周知することにより、労働環境の向上に結びつけ、男女共に仕事と家庭生活の両立を図れるようになる。					
24	男性の家事・育児等への参画に向けた学習機会の提供	夫婦でのパパママ教室参加率	92%	90%以上	○	
効果見積	夫婦が、妊娠期から出産後の妊産婦の心の変化や、育児について共に学び、お互いの役割を一緒に考えることができる。					
24	男性の家事・育児等への参画に向けた学習機会の提供	「パパ講座」「育メン広場」参加人数	531人	550人	○	
効果見積	小中学生が、赤ちゃんとふれあい、関わることによって様々なことを感じたり考えたりしながら思いやりや命を大切にようになる。					
24	男性の家事・育児等への参画に向けた学習機会の提供	男性の参画を促進するための講座実施数	18講座	18講座	○	
効果見積	男性が、積極的に子育てや家事を楽しむようになる。					
25	子育て世代の男性に対する家事・育児参画の促進	働き方に関する広報・啓発の実施回数	6回	—		○
効果見積	子育て世代の男性が、家事・育児等の両立に配慮した働き方を認識することで、ワーク・ライフ・バランスのとれた生活をするようになる。					
26	働き方の見直しのための啓発	県下一斉ノー残業デーの啓発回数	1回	1回	○	
効果見積	労働者が、働き方を見直すことにより、男女共に仕事と家庭生活の両立を図れるようになる。					
27	女性活躍推進のための講座などの開催	講座の受講者数	—	20人	○	
効果見積	企業の人事担当者や労働者が、職場での適切な人員配置と必要な業務改善について考えることで、働きやすい職場環境の整備がすすむ。					
28	子育て家庭への支援の充実	子育て支援センター、つどいの広場利用人数	80,664人	85,000人	○	
効果見積	子育て中の市民が、子育ての不安が解消することによって、子育てに前向きになる。					
29	女性のライフプランニング支援	女性が充実した生活を送るための講座実施数	—	1回	○	
効果見積	女性が充実した生活を送るための講座を受講することで、積極的な社会参加が望めるようになる。					

基本目標 4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備

(1) 地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進

No.	取組	指標項目	2016	2023	区分	
					目標指標	確認指標
30	地域団体や組織等に対する男女共同参画に関する情報・学習機会の提供	町内会等への啓発回数	0回	2回	○	
効果見積	各種団体が、男女の隔たりなく活躍できるようになる。					
31	防災活動における男女共同参画の推進	女性の視点に配慮した備蓄品（トイレ用ランタン、除菌消臭剤、ウェットティッシュ）の配備	配備なし	配備済み	○	
効果見積	女性の意見が防災計画や備品計画に反映される。					
32	女性を狙う犯罪から身を守るための講座の開催	女性対象防犯教室の参加者数（累計）	1,142人	1,940人	○	
効果見積	防犯教室等の参加者が、実践を多く行うことにより、女性の防犯意識が高まるとともに、対応策を身に付けることで不審者に対する心構えができるようになる。					
33	男女共同参画に取り組む市民活動団体の育成	男女共同参画の活動も行う市民団体数	31団体	32団体	○	
効果見積	市民活動団体が、それぞれの分野の取組の中で男女共同参画を促進するようになる。					

(2) 性差を踏まえた健康づくりの推進

No.	取組	指標項目	2016	2023	区分	
					目標指標	確認指標
34	妊娠や出産に関する健康支援の実施	妊娠11週までの妊娠届出率	95.8%	95%以上	○	
効果見積	助成を受けた夫婦が、経済的負担の軽減により、安心して妊娠に向けて取り組んだり、出産を迎えるようになる。					
35	男女特有の疾病に対する予防支援	乳がん検診受診率	17%	18%	○	
効果見積	市民が、男女特有の疾病（子宮頸がん、乳がん、前立腺がん）の検診受診の重要性を認知することで検診を受診するようになる。					

(3) 参画を助ける環境の整備

No.	取組	指標項目	2016	2023	区分	
					目標指標	確認指標
36	通常教育・保育事業の推進	保育園等への入園申込をした児童のうち、どこにも入園できなかった児童の人数	0人	0人	○	
効果見積	保育を希望する市民の子どもが、より多く保育園等に入所できるようになる。					
37	一時預かり事業、時間外保育事業、病児・病後児保育事業等の充実	一時、休日、延長、病児・病後児保育実施園数	一時：9園 休日：2園 延長：31	一時：10園 休日：2園	○	

			園 病児・病後 児：1園	延長：32 園 病児・病後 児：1園		
効果 見積	市民が、多様な保育サービスを受けることで、就労等で保育を必要とする父母が安心して子どもを預けられる。					
38	放課後児童健全育成事業 (児童クラブ)の推進	児童クラブ入会登録児童数 ★	1,852人	2,000 人		
効果 見積	それぞれの家庭の状況を踏まえて、働く保護者が安心して子どもを預けられるように子育てできるようになる。					
39	介護離職ゼロに向けた取組 の推進	介護休暇制度の周知件数	1件	3件	○	
効果 見積	全ての職員が、介護休業制度を十分認識し、夫婦・家族で介護を担えるようになる。					

基本目標5 人権の尊重とDVの根絶

(1) 多様性を認め合う社会環境の整備

No.	取組	指標項目	2016	2023	区分	
					目標 指標	確認 指標
40	LGBT等、多様な性に関する理解促進	市民向け啓発回数	—	2回	○	
効果 見積	市民が性的少数者(LGBT等)に対する対応方法を理解し、多様性を認め合うようになる。					
41	あらゆるハラスメントへの防止に向けた啓発	教職員向け研修会への参加者割合(学校教育課)	—	50%	○	
効果 見積	教職員が、様々なハラスメントや人権侵害問題を意識するようになる。					
41	あらゆるハラスメントへの防止に向けた啓発	ハラスメントに関する啓発回数(商工課)	0回	—		○
効果 見積	事業主が、人権侵害の防止にの取り組みをするようになる。					
42	様々な相談事業の実施	女性相談の相談件数	71件	—		○
効果 見積	女性が、安心して相談できるようになる。					
42	様々な相談事業の実施	母子相談の相談件数	636件	—		○
効果 見積	相談者が、安心して相談できるようになる。					
42	様々な相談事業の実施	子育て相談件数	123件	—		○
効果 見積	子育て中の保護者が安心して子育てできるようになる。					
42	様々な相談事業の実施	DVや児童虐待に関する相談件数	174件	—		○
効果 見積	DV被害者が、安心して生活を立て直せるようになる。					
42	様々な相談事業の実施	心配ごと相談の相談件数	64件	—		○
効果 見積	様々な事情を抱える利用者が分け隔てなく利用しやすくなる。					

(2) DVの啓発と早期対応

No.	取組	指標項目	2016	2023	区分	
					目標指標	確認指標
43	DV防止に向けた情報提供・啓発の実施	DV啓発人数（子育て支援課）	—	市内全21小学校の新1年生保護者	○	
効果見積	DV防止についての啓発を実施することで、DVで悩む人が安心して相談できるようになる。DV加害者がDVとの認識を持ち、DVをしなくなる。					
44	DVに関する相談対応の実施	DVに関する相談件数（子育て支援課＋市民課合算）	30件 子育て支援課：22件 市民課：8件	—		○
効果見積	DV被害者が安心して相談できるようになる。					
45	被害者支援にあたっての関係機関との連携強化と適切な一時保護の実施	一時保護件数	1件	—		○
効果見積	女性相談センター、児童相談センター、警察及び市の関係部署と連携して、職員が、被害者を適切に一時保護をし、身体の安全を確保できるようになる。					
46	被害者の自立支援	関係部署とのコア会議回数	—	—		○
効果見積	市が、支援措置や一時保護をした母子に対して今後の生活設計を十分に聞き取り、自立した生活が送れるように庁内が連携して支援することができる。					
47	二次被害の防止に向けた市役所対応の強化	市職員向けDV研修の参加者数	40人	—		○
効果見積	研修を受講した職員が、DVに対する認識や理解を深めることができる。					